

## [09\_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468048>

---

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 9 (2), 1976-06-01. 九州大学大型計算機センター  
バージョン：  
権利関係：



## お 知 ら せ

## 計算機利用申請書中の「予算管理」について

支払責任者登録をされる際、支払責任者登録欄の「予算額」とその「予算管理」について記入していただくようになっていきます。

「予算管理」とは、計算機を利用している内に予算額を越えた場合、以後のジョブについてどのように取扱うかでその方法には、次の3通りがあります。

1. 無 視 予算額を越えた場合LPのアカウント情報欄には予算額を越えたことの表示はしません。
2. 警 告 予算額を越えた場合LPのアカウント情報欄に予算額を越えたことを表示するとともに以後のジョブは実行します。
3. 打切り 予算額を越えた場合LPのアカウント情報欄に予算額を越えたことを表示するとともに以後のジョブは実行しません。

但し、3打切り指定については、ジョブの入力時に1円でも予算残があればジョブは実行されますので、申請された予算額で打切りにされる方には、次の方法を取られるようお勧めします。

- ・ オーバー分を見込んであらかじめ予算額を少なく申請する。
- ・ 予算残高が少なくなった時点で同時に何件ものジョブを流さない。

(No. 111 共同利用掛)

## お 願 い

計算機の利用も1月、2月が最盛期で、皆様は長いターンアラウンドタイムに痺れをきらされたことと存じます。センター側も出来るだけの努力を払ったつもりですが、思うにまかせません。

昨年に比べ、皆様のジョブ1件あたりのcpuタイムもかなり伸びているようです。カードリーダーの前に並んだ人の中には九大センターで1ヶ月かかる仕事は東大センターに持って行けば、数日ですむと言われた方もいます。そのとおりでAジョブ程度なら、東大センターで数分で済むと思いましたが(東大センターニュース)、我々の所では残念ながら1日かかりましょう。

このような窮境を打開するため鋭意処理能率向上に努力していますが、年間レンタル料の差(東大、京大は我々の3倍)は如何んともしがたい状況です。レンタル予算の増額要求は今年度も認められませんでした。

このような状況を踏え以下について、皆様のご援助、ご協力をお願いします。

- 1) 出来るだけ4月、5月等の閑散な時期に計算して下さるようご配慮をお願いします。ご承知のように例年この時期と夏休み迄は、割にすいていますので特に長時間かかるジョブの処理についてはこの時期にご計画くださることを希望します。
- 2) 最近科学研究費によるジョブが増加しています。校費でまかなえないような大きな計算を科学研究費で処理されることは、校費が物価に比し相対的に少なくなった今日、当然の成行きと思われま

す。

また、センターとしても何の区別もなく使って載っています。そのためどちらの費目による負担金も同じくセンター運営に使われているとお考えの方が多いようですので以下のことを述べておきます。

科研費によるジョブ負担金は実際には、センターでは全く使えないことになっており、そのまま大蔵省に還流されます。

従って、これによる設備拡充など利用者への還元は何も出来ません。むしろ、その処理のため必要なすべての経費は、維持費及び校費によるジョブ処理負担金でまかなわれています。

よってこれが増大すれば、我々のような比較的小さな規模の共同利用センターでは、その運営を圧迫することにもなりかねません。

これらのことを念頭におかれて科学研究費の申請をされますようお願いいたします。

3) 科学費の使用可能期間は交付決定通知より締切迄の期間が短く、かつ、その期間が繁忙期になります。

従って我々のように能力一杯のセンターでは、あるいは利用が充分出来かねるかも知れません。

東大は能力的にも充分余裕があり(年間レンタル6.5億円以上)航空便扱いで数日で済みます。また長時間ジョブの優遇もなされています。(京大センターも、この秋東大センター以上の規模のものとなり、同様な状況になる予定です。)

科研費用ジョブに対しては、利用のための出張旅費迄は支出できませんので申請段階で、これらの点を含んで充分利用出来るようご計画くださることをお願いします。

なお、科研費での計算機利用には、大型計算機センターがまだどこにもなかった時代、特に大きな役割を果たした日本学術振興会のユニコンの利用も便利なことを付加しておきます。これは一万円の申込み手数料でIBM 360/195では0.25時間、UNIVAC 1108およびFACOM 230/60では、それぞれ0.5時間の計算利用で(入出力には無関係に)認められています。

以上、我々のセンターのレンタル増が認められる迄の窮境を乗り切るために、若干のお願いをしました。何率よろしくご配慮ください。

(No. 113 共同利用掛)

### カード穿孔装置の変更について

センター2階ロビーおよびオープンパンチ室に設置しているカード穿孔装置を昭和51年4月1日より、IBM 29 EL型からFACOM 6822Aに機種変更いたしました。利用方法についてはほとんど変更はありませんが、詳しくは備え付けの穿孔手順書を参照してください。なお、インタプリタは現在のままです。

(No. 113 業務掛ジョブ管理班)

## ・ インタープリタの騒音防止について

センター2階オープンパンチ室のインタープリタの騒音についての苦情が多々ありましたが、騒音対策として防音カバーを取付けましたのでお知らせします。

(No. 113 業務掛ジョブ管理班)

## セ ン タ ー 日 誌

- 5 1. 1. 6 業務開始(年始のため)
- 1 2 プログラム相談再開
- 1 3 業務委員会
- 1 6 広報教育委員会
- 1 9 支払責任者登録, 課題登録の年度更新受付開始
- 2 6 プログラムライブラリ委員会
- 2 6 運用会議(名古屋大学大型計算機センターにおいて)
- 1 0 センターニュース No. 111 発行
- 1 3 広報教育委員会
- 2 4 業務委員会
- 2 6 センターニュース No. 112 発行(利用負担金改訂について他)
- 2 7 西利協総会
- 2 8 支払責任者登録, 課題登録の年度更新受付〆切
- 3 9 センターニュース No. 113 発行
- 1 5 昭和51年度計算機利用申請(新規)受付開始
- 1 6 センターニュース No. 114 発行
- 2 9 } 年度末のため業務停止
- 3 1 } カード穿孔装置入替